

みずほCustomer Desk Report 2025/07/31号(As of 2025/07/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.21
TKY 9:00AM	148.42	1.1552	171.37	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	149.53	1.1572	171.37	1.3355	0.6514
SYD-NY Low	147.80	1.1401	170.48	1.3385	0.6529
NY 5:00 PM	149.53	1.1404	170.59	1.3229	0.6427
				1.3240	0.6434

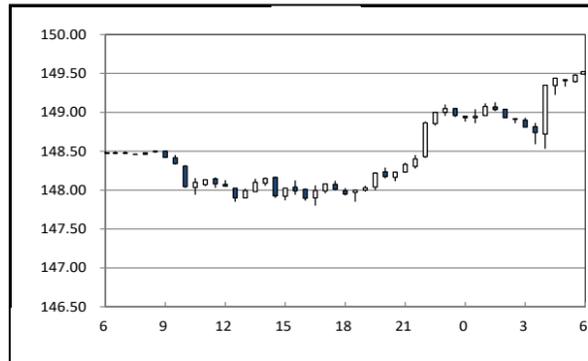
	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	44,461.28	▲ 171.71	日本2年債	0.8200%
NASDAQ	21,129.67	31.38	日本10年債	1.5600%
S&P	6,362.90	▲ 7.96	米国2年債	3.9437%
日経平均	40,654.70	▲ 19.85	米国5年債	3.9645%
TOPIX	2,920.18	11.54	米国10年債	4.3710%
シカゴ日経先物	40,680.00	▲ 10.00	独10年債	2.7050%
ロンドンFT	9,136.94	0.62	英10年債	4.6020%
DAX	24,262.22	44.85	豪10年債	4.2620%
ハンセン指数	25,176.93	▲ 347.52	USDJPY 1M Vol	9.11%
上海総合	3,615.72	6.01	USDJPY 3M Vol	9.71%
NY金	3,295.80	▲ 28.20	USDJPY 6M Vol	9.71%
WTI	70.00	0.79	USDJPY 1M 25RR	▲0.91%
CRB指数	305.24	▲ 0.71	EURJPY 3M Vol	8.40%
ドルインデックス	99.82	0.93	EURJPY 6M Vol	8.57%
			Yen Call Over	▲0.11%

【昨日の指標等】

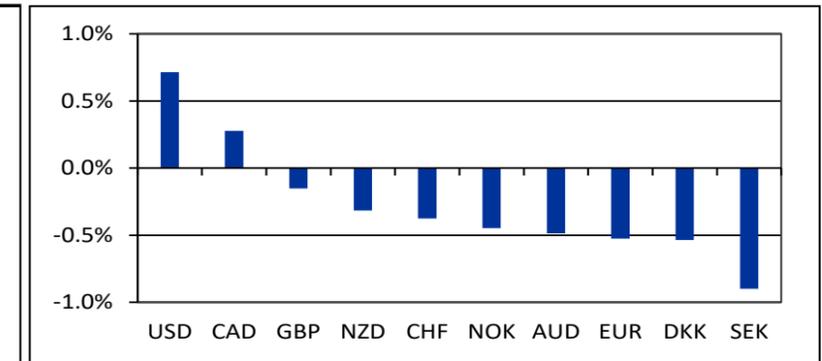
Date	Time	Event	結果	予想
7月30日	10:30	豪	CPI(前期比/前年比)	2Q 0.7%/2.1%
	15:00	独	小売売上高(前月比)	6月 1.0%
	17:00	独	GDP(前期比)・速報	2Q P -0.1%
7月31日	03:00	米	FOMC政策金利(下限-上限)	30-Jul 4.25%-4.50%
	03:30	米	パウエルFRB議長 会見	解決すべき不確実性は非常に多い

Date	Time	Event	予想	前回
7月31日	08:50	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	6月 -0.8%/1.3%
	10:30	中	製造業PMI/非製造業PMI	7月 49.7/50.2
	10:30	豪	小売売上高(前月比)	6月 0.4%
	-	日	日銀金融政策決定会合	7月 0.50%
	15:30	日	植田日銀総裁 講演	-
	15:45	仏	CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.2%/1.0%
	15:45	仏	PPI(前月比/前年比)	6月 -
	18:00	欧	失業率	6月 6.3%
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.2%/2.0%
	21:30	加	GDP(前月比/前年比)	5月 -0.1%/1.1%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	26-Jul 224k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.80-150.50	1.1350-1.15500	169.50-172.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間では、注目されていたFOMCでは事前予想通り政策金利は据置も、パウエルFRB議長がタカ派な姿勢を示したことでドル買いとなり149円台半ばまで上昇。本日は日銀金融政策決定会合が予定されている。政策金利据置がコンセンサスであり、注目されるのは展望レポートと植田日銀総裁の会見時のトーン。内田日銀副総裁は日米関税合意の内容を精査して展望レポートに反映させるとしており、内容には警戒感が高まる。また植田日銀総裁が会見で「引き続きデータを注視する」など利上げに慎重な姿勢を示せばドル円は150円を試す展開も予想される。

東京	東京時間のドル円は148.42レベルでオープン。朝方のカムチャッカ半島地震及びそれに伴う津波警報が意識されてか、ドル円相場は軟調なスタート。月末に伴うドル売りフローも重石となり、一時147.85まで下落。一巡後も上値重く、148円ちょうどを挟んだ値動きが続き、結局147.99レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は147.99レベルでオープン。米国の経済指標発表およびFRBの金融政策決定を控え、ドルはやや強含みで推移した。ドル円は148.31レベルでNY市場に引き継がれた。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米第2四半期GDPが予想を上回った事が好感され、米金利の上昇と共に買いが優勢となり、149.10付近まで上昇する。午後はFRBが政策金利を4.25%-4.50%に据え置く事を発表し、同時に発表された声明文では米経済成長は上期に減速したと示唆する文言が示され、一時148.50付近まで売られる。しかし、続いて行われたパウエルFRB議長の記者会見では、「9月会合に関する決定は一切行っていない」、「関税の影響を評価するにはなおかなり初期の段階にあり、まだ長い道のり」等と予想より効派な発言を受け、米金利が反転上昇する動きに伴い、その後149.53レベルでクロス。一方、ユーロは先述の予想を上回った米第2四半期GDPの結果を背景としたドル買いが重しとなり、1.1460付近まで下落する上値重い推移。午後はFOMCの結果を受け、米金利の上昇に伴った買いが重しとなり、1.1401まで値を下げ、1.1404レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。